

第1回植林祭 in バリ

『World Peace Festival Reboisasi in Bali 2009 年 11 月 1 日』

植林を通じて、地元の人たちの環境認識や森づくりの大切さを体感して頂く、環境教育を兼ねた植林祭というイベントを企画し、この年初めて開催しました。



チャマツト
(郡長)にご
挨拶。地元民
の理解が一
番です。



11月1日にインドネシアバリ島にて植林祭が盛大に行なわれ、総勢350名を越す方々のご協力により、3000本の植林を行なうことができました。植林体験ツアー参加者の方々キンタマーニ高校の先生・生徒の方々バリの森を考える会の方々、バリ州林業局の方々、バンリ県林業局の方々、赤十字の方々、在デンパサール日本国総領事館の方々、RRIの皆さんなど地元の方々予想の200名をはるかに超える参加がありました。

◆植林祭参加して頂いた方の声

- ◆美しい緑豊かなバリ島だと思っていましたが、ガリの森が少なくなっているという現実を、こうした地道な努力で回復させていこうという活動に感動しました。森林の大切さをわたしも痛感しましたし、一緒に活動したバリの高校生たち、若い方々もこれからのバリ島の環境保全に大いに関心を持って努力してくださることを期待しています。
- ◆バリの子供たちとの協働作業は、国境を越えた交流としても大変良いアイデアだと思います。木等の植生のサイクルのパンフレットが配布されたら、植林現場でも一般の方も判りやすいのではないかと思います。《42歳男性》